NO.

安全に関する改善事例

記入日：　2005　年　10　月　27　日

記入者：　(所属会社)　(氏名)　(連絡先電話番号)

ダム名	所在地県名	発注者	型　式	ダム諸元		
				堤高 (m)	堤頂長 (m)	堤体積 (千m3)
滝川ダム	福島県	福島県	G	74.3	213.0	275,000

設計・施工区分	工　種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無
施工	ダム土工、仮設	飛来落下	自然要因、設備要因	上下作業	有　：(無)

改善の概要：　落石防止柵の設置

右岸掘削と下部の減勢工構築を同時施工せざるをえない状況で、掘削箇所下部の自然斜面に亀裂の発達した露頭岩が多いため、発破や掘削重機稼動時振動による落石が懸念された。下流の自然斜面の地形を考慮して、単管と矢板による3段の落石防止柵 (h=2m) を設置して、落石の落下方向を変えるようにした。

特許の有無　有　：(無)

メリット：

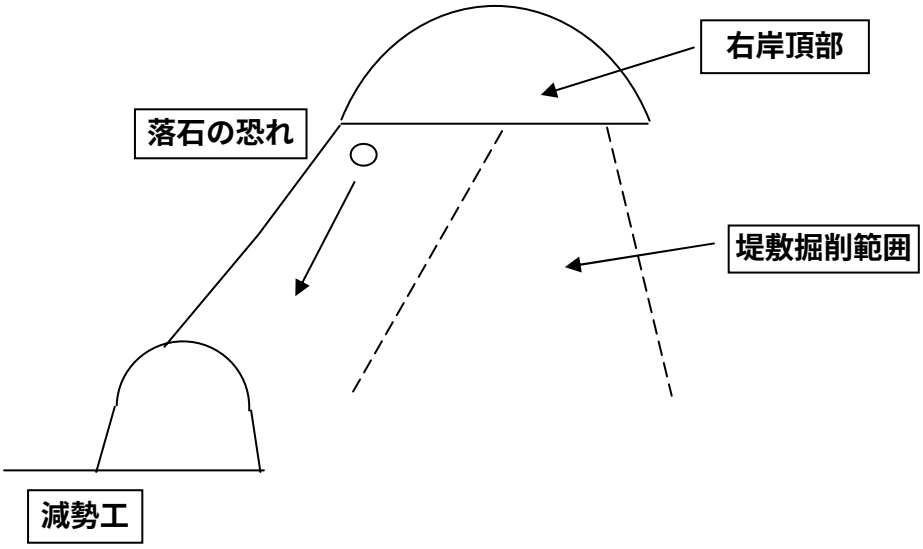
・最大Φ50cm程度の落石3度と倒木の落下があったが、落下方向を変えて、ｽﾞﾘﾎﾟｹｯﾄへ誘導できた。

・落石の方向を変える目的から、構造は簡易なものとした。

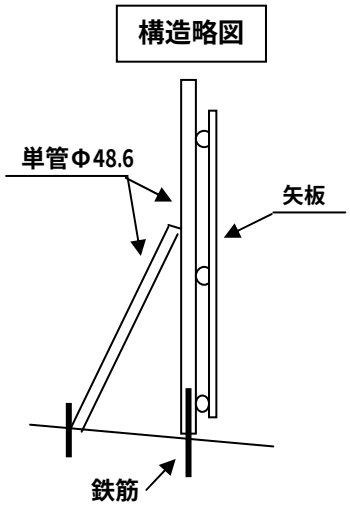
デメリット：

・設備設置費用の発生

改善前　(略図または写真)



改善後　(略図または写真)



ダム工事総括管理技術者会